山之内病院　一般病棟通信

一般病棟では、肺炎、心不全、脳梗塞などの急性期の患者様が多く入院されており、整形外科医師も診療しているため、骨折の患者様も入院されています。また、当院では透析も行っているため、透析患者様の入院や、シャント造設術や腹膜透析カテーテル挿入術などの手術もあります。
院長が糖尿病認定医のため、院長、糖尿病療養指導士、栄養士、リハビリでチームを組み糖尿病教育にも力をいれております。

また、大学病院や総合病院からターミナル期の患者様や施設や在宅に向けて調整が必要な患者様の受け入れも行っており、急性期から慢性期、内科系、外科系を問わず様々な疾患の患者様の看護を行っております。

平成 27 年度より電子カルテを導入、看護記録は電子カルテで入力しています。病棟の教育委員会を中心に勤務時間内で受けられる勉強会を開催し、知識や技術の向上に努めています。

看護スタッフは子育て期間中や子育てを終えたスタッフが多く、仕事だけでなく子育ての面でも相談しやすい環境で、小さなお子さんがいる方でも働きやすい病棟です。

一般病棟師長　古茶弘美

一般病棟の様子

糖尿病療養指導士の声

看護師になり大半は教育の分野で勤務しています。
特に糖尿病看護では専門的に患者さんに関わらせていただいています。
入院してくる糖尿病患者さんには血糖コントロール不良となる
生活習慣があります。それは何か共に考え内発的動機付けを行い、
行動変容へと導いていきます。人の考えを変えるのは簡単な事ではありません。そのため糖尿病治療は医師・看護師・栄養士・理学療法士など
多職種でチームを作り多角的に関わっていきます。患者さんとの関りで
困難を感じた時、相談できる環境があります。当院でも糖尿病チームを作り、
教育入院強化のため、毎月会議を開いています。

現在はクリティカルパスを使用した教育入院プログラムを構築しています。
「合併症の進行を抑えその人らしい生活」が送れるよう援助していきたいと
考えています。当院は日本糖尿病学会専門医が常勤しており糖尿病療養指導士の
資格取得ができます。またグルコースモニタリングシステムの実例や
糖尿病専門医院の見学、症例発表など専門的な知識を学ぶことができます。私も日々学んでいます。

子育て中のスタッフの声①

現在二人の子供を育てながら勤務しています。入職後は常勤で働いていましたが、
二人目出産後は育児時間の利用、その後はパートとなり勤務しています。
育児経験豊富なスタッフも多く、仕事以外でも育児の相談もしやすく、
様々なアドバイスをいただくことができ、頼りになるスタッフが多いです。
勤務時間内に病棟主催の勉強会があり、知識も増やせます。
育児と仕事が無理なくできる働きやすい病院だと思います。

子育て中のスタッフの声②

主人の転勤で長生郡に来ましたので、地域の病院のことはわからず、
住まいに近い当院を選びました。入職当時子ども二人は保育園児だったので、
パートとして働き始めましたが、子どもの急な発熱、通院などで
仕事を休まなければならないことも多くありました。子育てを終えた先輩方、
子育て中の方が多くいますので、急なお休みをしても子どもの病状の心配をしてくださり、
気にしないでと声をかけていただき、温かい言葉に助けられながら仕事を続けることができました。
子どもたちが小学生になった現在、常勤として働き、自分の興味のある分野での
勉強や仕事もやらせてもらうようになっています。院内保育園、病児保育も
完備されており、子育てと仕事の両立ができる職場だと思います。

新人教育について

当院ではプリセプターシップを導入しています。大きな病院とは異なり、新人さんが多く入職されないので、他院のような新人集合研修はできませんが、技術チェックリストに沿って指導を行い、多くの技術を経験し、知識が深められるよう指導しています。また千葉県看護協会で行われる研修に参加することで、院内では経験できない技術、知識の向上に努めています。当院だけでなく、他院での経験や専門分野での経験も豊富なスタッフが揃っており、様々な経験談を聞けるのもこの病棟の良いところだと思います。

新人看護師の声①

療養病棟で８か月勤務し、その後一般病棟へ異動しました。一般病棟では、様々な疾患の患者様が入院しており慣れるまでに時間がかかりましたが、日々の忙しい中でも、困ったときに声を掛けてくださったり、助言を頂いたりと優しい先輩方の中で毎日頑張っています。まだまだ未熟な所もありますが、患者様に信頼される看護師を目標に、これからも努力していきたいと思います。

新人看護師の声②

夷隅准看護護学校に通いながら、当院で看護補助者として働き、その後准看護師として入職しました。入職した頃は技術、知識に不安も多くやっていけるかどうか不安でいっぱいでしたが、先輩方から丁寧な指導やアドバイスを頂き、また疑問や相談事も親身になって聞いてくださるので、とても働きやすい環境の中で仕事をすることができています。少しずつ日常業務や病棟にも慣れてきていますが、まだまだ学ぶことも多く、大変に感じることもあります。でも応援してくれる環境もあり、ステップアップへ向けて進んでいければと思っています。

看護補助者について

　看護補助者は、医療チームの一員として大切な存在であるとともに、患者さんにとって身近な存在です。一般病棟は急性期の患者様が入院されていますので、入退院の準備や、検査の送迎、食事介助、保清など看護補助者の方々の力が非常に重要な病棟です。忙しいですが、看護補助者同士、また看護師と協力しあって業務にあたっています。

業務内容

入院患者さんの日常生活のサポート

- 食事の配膳、セッティング
- 入浴や洗髪、清拭の介助
- 車いす移動、歩行の介助
- トイレの誘導・介助、オムツ交換
- ベッドで寝ている患者さんの体位交換の介助　など

快適で安全な療養環境の整備

- シーツ交換
- 病室の温度調整や換気、騒音などの確認
- 病棟で使う診療材料の補充、整理整頓など

治療や処置が円滑に進むための補助

- 診療に必要な物品の準備、片付け
- 医療器具の洗浄

看護補助者の声

勤続して９年経ちました。
未経験で入職して右も左も分からず全く何も出来ない私に先輩方は
根気強く丁寧に、時には厳しく１から指導して下さいました。
相手を理解し尊重した上で自分の意見を述べる事で信頼関係が築けるように
なるという事を先輩方や業務を通して学べていると思います。
配属された病棟によって業務内容も少しずつ異なるため、
やりがい等はその時によって変わってきます。
決して楽な仕事ではありませんが、患者様が快適で安全な入院生活を
過ごして頂けるようこれからも精進していきたいと思います。

勤続９年目

勤続２年目

看護補助者として働いて２年目になります。
以前は高齢者の施設で働いていました。
医療現場は初めてですが、周りの先輩方に支えていただき、日々業務を
行っています。
また、患者様との関わりの中で病状が回復していく姿や笑顔に
私も元気をもらっています。
今後もたくさんの現場経験を身に付け、医療の知識についてさらに
学んでいきたいと思います。

私は入職時、療養病棟で勤務していましたが現在は一般病棟で勤務しています。
一般病棟は入院、検査、透析の送迎と患者様のケア等、様々な業務があります。
日々の業務は忙しいですが、スタッフは明るくチームワークも良く
協調性もあります。
そして新人職員にも丁寧に指導して下さいます。
私も入職時は不安もありましたが、周りの方々の支えもあり、仕事と
環境にも慣れ、次第に安心して仕事することが出来ました。
また病棟には様々な疾患の患者様が入院されています。
患者様が元気になっていく姿を見届ける事や、感謝の気持ちを伝えて
もらった時は、とてもやりがいを感じます。
これからも患者様の気持ちに寄り添って仕事していきたいです。

勤続４年目

平均年齢は高いですが
気持ちは若いスタッフ
ばかりです！

海の近くに住んでおり、休日は
サーフィンしています。プライベ
ートも充実しています！

病棟クラークです。
忙しいながらも楽しく
働いています。

看護補助者も感染委員会から
何度も防護服の着方や手洗い、
感染対策の研修を受けています。

私達、５年前と見た目も変わら
ず楽しく働いています。

Before→

After↓

新人さんも指導を
受けながら
日々学んでいます。